



HPで活動の様子を  
紹介しています。

# 若 鮎



たにはまラン（持久走大会）10/13 =800Mのスタート=



市親善陸上大会 10/4

## 粘り強く挑戦し続ける力の育成を！

校長 岩片 和義

実は昨年も、10月号はこのタイトルで学校たよりを書きました。それは、私が「粘り強く挑戦し続ける力」の育成をとっても重要だと考えているからです。

本県は教育がめざす人づくりの姿を「ふるさとへの愛と誇りを胸に、夢や希望を持って粘り強く挑戦し、未来を切り拓いていける、たくましいひとづくり」と定めています。これは、本県の県民性として粘り強さが挙げられる一方、かつて行った全県の児童生徒に対する調査結果からは次のような課題も挙げられ、以来、粘り強く挑戦することを重視するようになりました。

◆ ちょっと考えて分からない問題は、すぐにあきらめて「無解答」にする。

◆ 長文を読解してから答える問題、一定量の文章を記述して答えなければならない問題には、（面倒なのか？）初めからあきらめて取り組まない。

少しでもテストの点数をよくしたいという欲がないようにも思えますが、単に無気力とも言えます。そもそも「無」からは何も生まれません。一方、たとえ間違ったり失敗したりしても、挑戦すればそこからの学びが残ります。学びにつながった間違いや失敗や敗北等は、むしろ成功等と言ってもよいのではないのでしょうか。未来を切り拓く力、夢を実現するたくましさは、このような粘り強い挑戦から始まると、私は思っています。

さて、左上の写真は、「たにはまラン（持久走大会）」です。一人一人が目標を設定し、当日はもちろん、本番を迎えるまでの練習期間に目標の達成を目指して自分とたたかい、粘り強く取り組みました。閉会式で確認したところ、ほとんどの子どもたちが目標を達成することができたと言胸を張りました。苦しいけれど、頑張っ完走できた、自己ベスト記録が出たという経験が、新たな挑戦への原動力になるのだと思います。

右上の写真は、高田城址公園陸上競技場で行われた市親善陸上大会（各校6年生のみが参加する親善大会）です。写真は当校6年生がエントリーした男女混合リレーで、バトンパスがうまくできた場面で、結果は5位でした。帰校後の振り返りで、6年生が来年出場する5年生に出場競技別にアドバイスをしていました。長距離に出た子は「苦しくても前の人についていくことが大事」と、自分とのたたかいを最後まであきらめないことの大切さを述べていました。

今、5・6年生は文化祭での発表に向けてトランペット鼓隊の練習をしています。正しい音程、美しい音色を安定的に出せるよう、失敗しても粘り強く挑戦しているところです。



## 9月21日（木）学校保健委員会、環境整備作業 ありがとうございました。

第2回の学校保健委員会は、講師に、上越市教育委員会指導主事 藤田賢一郎様をお迎えして、「電子メディアを家庭で健康的に活用するために」というテーマで学びました。

全校に希望を募り集まった保護者の皆さんと、5・6年生児童が参加しました。各種調査結果から「メディアと生活習慣」の関係について考えたり、いくつかの問題事例を扱った動画を視聴し、「ネット社会の歩き方」について学んだりしました。現代、電子メディアなしで生活することは困難です。だからこそ、大切なのは「ノーメディア」ではなく、「メディア接触コントロール」の力を付けることだと学びました。

また、その後の環境整備活動では、普段なかなか手の届かないところを、親子で丁寧に掃除していただきました。おかげさまで、学校中がピカピカになり、気持ちよく整った環境で過ごせることに感謝しています。参加いただいた皆さん、本当にありがとうございました。



## 9月26日（火） 保小中合同避難訓練

今年度は、土砂災害警戒情報が発表され、避難指示が出たという想定で行い、谷浜小学校体育館に、保育園、中学校から園児、生徒が避難しました。大勢の避難でしたが、落ち着いて安全かつ速やかに行動することができました。今年は、計画段階から市の防災アドバイザーの方に関わっていただいております。当日も子どもたちの避難の様子をご指導いただきました。

また、写真を見ながら、昭和40年9月に谷浜・桑取地区をおそった水害、土砂災害について話を聞きました。この災害では、学校前の県道が土砂で埋まり、桑取地区が孤立したことを知りました。土砂に埋まった道なき道を進む視察団、増水、氾濫した川に削り取られた田、損壊した橋の写真などから、子どもたちは、過去の被害の様子を目の当たりにし、災害が決して他人ごとではないこと、だからこそ日常の備えが重要であることを学びました。



## 10月13日（金） たにはまラン（持久走大会）

雨天続きでグラウンドコンディションが整わず、当初の予定を1日延期しての開催でしたが、すがすがしく晴れた秋空の下、どの子も精一杯の走りを見せました。

持久走は、自分自身との闘いです。過去の自分を乗り越えるために、昨年度の記録をもとに一人一人が具体的なめあてを立て、本番に臨みました。

いよいよスタート。合図と共に、子どもたちは一斉に、力強く走り出しました。コースには、保護者・地域の皆様の声援が響きます。たにはま保育園の園児さんも、応援に駆けつけてくれました。

大勢の方々の励ましのおかげで、自分の力を出し切り、自己ベストを出せた子が多くいました。応援してくださった皆様、本当にありがとうございました。





## 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果から

6年生が4月に実施した調査の結果がまとまりましたのでお知らせします。今回は国語、算数の調査を行いました。調査の結果、国語は県平均と同じでしたが、全国平均は下回りました。算数は、全国・県平均を下回りました。この調査は、学力のすべてをはかるものではありませんが、谷浜小学校の学力に関する状況は以下のとおりです。

### <国語>

- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」の正答率が高い。また、「話すこと・聞くこと」の領域は正答率が高い。
- ・「書くこと」の領域の正答率が低い。特に「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」ことや、「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる」ことに課題がある。

### <算数>

- ・「数と計算」の領域は正答率が高い。
- ・「データの活用」の領域の正答率が低く、特に「2つのグラフを比較し見出した違いを言葉と数を用いて記述する」ことに課題がある。また「図形」の領域では、台形、正三角形の意味や性質に関する知識・理解が不十分であることが伺えた。

### <質問調査紙から>

- ・全員が毎日朝食を食べており、同じくらいの時刻に寝て起きている児童が多い。
- ・自分にはよいところがあることを実感し、将来の夢や目標をもっている児童が多くいる。
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいとほとんどの児童が思っており、地域を大切に思う気持ちが育っている。
- ・人が困っているときは進んで助け、人の役に立つ人間になりたいと全員が思っている。
- ・勉強の大切さを感じたり、社会に出た時に役立つと思ったりしているが、勉強が好きではない児童もいる。
- ・学習した内容について分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげたり、授業で学んだことを他の学習で生かしたりしている。

国語・算数に共通して複数のデータ（グラフや図表）を関連付けて読み取り考察することや、データを引用しながら考えを表現することに課題があることが明らかとなりました。資料（図表、グラフ等）を正確に読み取り、それを説明する活動や、資料をもとに考えたことを言葉や数などで表現する活動を、国語・算数の授業にとどまらず、各教科で意図的に仕組んでいく必要があると考えます。

基本的な生活習慣が身に付いている児童が多く、自己有用感を感じ、地域を大切に思う気持ちが育っていることが分かりました。地域の多くの皆様からお力添えいただきながら、生活科・総合的な学習の時間を中心に、豊かなふるさと学習を積み重ねている成果と考えます。

## 10月28日（土） 小中合同文化祭について

小中合同文化祭が近づいてきました。各学年とも、これまでの学習を振り返り、経験したことや学んだことを、来てくださる方に伝えようと練習を進めています。当日は、子どもたちの学びの成果をじっくりとご覧ください。

## 11月21日（火） 同和教育授業参観について

5時間目に、全学級で人権教育、同和教育の授業参観を行います。学年の発達段階に応じて、身の回りにある差別に気づき、解消するためには何が大切かを学ぶ授業です。授業をきっかけとして、子どもたちだけでなく、私たち大人も人権感覚を磨くことができます。ぜひ、多くの保護者の皆様からご参観いただきたいです。そしてこれを契機に、ご家庭でも差別やいじめをなくすことをテーマに、お子さんと話し合っただけいたらと思います。

